

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号

愛知あかつき会館内

☎(052) 251-2925 F A X (052) 261-6063

定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円

毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)

1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

# 愛知民報

2021年

8月1日

第2548号

## 民青の食料支援、広がる学生の輪



120人が利用した民青学生班主催の食料支援活動＝7月15日、日進市

### 4000人の学生が利用

日本民主青年同盟（民青）愛知県委員会はコロナ禍の学生生活を支えるため、昨年6月以降、「ほこほこ愛知プロジェクト」（以下ほこプロ）として、食料支援活動を行ってきました。これまでに、県内25カ所、開催数は100回を超え、学生の利用者は4000人を越えました。全国でも利用者は7万人を超えています。コロナ感染拡大のもと、学生生活が奪われています。どの会場でも「本当に助かります」「次は友達もつれてきます」と声が寄せられ、学生の輪が広がり、利用者が広がっています。（日本共産党愛知県青年学生部長・都出浩介）

#### 「1日1食」

#### 「病院に行かなくなった」

今年の6月末から民青が新たに開始した「1日1食」と回答。「1日1食」は、「新型コロナ学生生活影響調査」には、食料支援を利用した学生を中心に300人からリアルな実態が寄せられています。

アンケートに回答した学生のうち、「バイトの収入が減った」「仕送りが減った」など、収入が減少したと答える学生は5割を越え、コロナ以前の生活と比べて「生活が苦しくなった」と答えた学生は6割を越えました。経済的負担になっているものの上位は「食費」と答えた学生が7割、「学費」と答えた学生が4割にのぼっています。

中身も深刻です。「生活で意識していること」として、学生の4割が「食費」を挙げています。7月15日の日進市のほこプロを利用した大2年生は「これまで、何度かポストにチラシが入っていたけど、バイトで予定が合わず今日やっとならなくて」と語りました。

#### 民青あいち公式ライン

毎月の県内の食料支援活動の一覧はこちらから



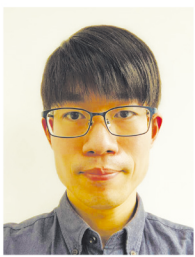
別の学生は「母子家庭で実家は飲食店を経営していて、コロナで大打撃をうけた家庭の収入は減りました。自分も大学入学当初始めた飲食の仕事もなくなり、仕方なくコンビニのバイトと掛け持ちをして生活を繋いでいる」と深刻な実態を語っています。

古川大暁委員長は、食料支援活動などの場で学生から切実な声が寄せられていると指摘。国として、このような学生の実態に引き合い、高すぎる学費の負担軽減、学生の学びを保障する制度の拡

充・創設を急ぐこと、大学の開講を自助に任せるのではなく国として支援し、学生の学びの権利を保障することを強調しました。文科省の担当者は、対面講義が重要だという認識を示しました。民青側は、ほこプロの写真を示し、「支援規模が小さい」と指摘。さらなる支援を要望しました。

ほこプロは、学生の苦難を軽減する活動として、学生から喜ばれて歓迎されています。あわせて、自己責任論を乗り越えて、政治を変える契機となる場と位置づけ、「一緒に政治や社会を変えよう」と呼びかけることを大

切にしています。食料支援の場でのアンケートで「国にやってほしいこと」の一位は、ダントツで「学費免除・無償化」です。今年の総選挙で学生に希望を届け、政権交代と日本共産党の躍進で一刻も早く「学費半減」を実現し、学生の声に応える政治をつくるために、私たちもその一翼となつてがんばります。



私に参加するきっかけはアパートに入ったチラシを見たことです。親の収入の減少で仕送りが減り、食料がもらえないなと思って参加しました。食費に困っていたので、毎月ほこプロのスタッフとして関わってきました。毎回の取り組みで生活に困っている学生や友人が来てくれて、人とのつながりが生まれ、ボランティアとして関わることができました。ありがとうございました。ありがとうございました。

#### 「学費が高すぎる」集めた声を行政に

民青愛知県委員会は食料支援と同時に、学生の声を集めて政治と行政を変える力にしようとしてきました。昨年4月から集めてきた700人分のアンケートをもとに、6月23日文部科学省に学生への学費負担の軽減を求めて、オンラインで緊急の申し入れを行いました。日本共産党議員、長内史子県青年学生副部長も同席しました。

文科省の担当者は、対面講義が重要だという認識を示しました。民青側は、ほこプロの写真を示し、「支援規模が小さい」と指摘。さらなる支援を要望しました。

私に参加するきっかけはアパートに入ったチラシを見たことです。親の収入の減少で仕送りが減り、食料がもらえないなと思って参加しました。食費に困っていたので、毎月ほこプロのスタッフとして関わってきました。毎回の取り組みで生活に困っている学生や友人が来てくれて、人とのつながりが生まれ、ボランティアとして関わることができました。ありがとうございました。

私に参加するきっかけはアパートに入ったチラシを見たことです。親の収入の減少で仕送りが減り、食料がもらえないなと思って参加しました。食費に困っていたので、毎月ほこプロのスタッフとして関わってきました。毎回の取り組みで生活に困っている学生や友人が来てくれて、人とのつながりが生まれ、ボランティアとして関わることができました。ありがとうございました。



文部科学省要請＝6月23日

#### 私も助ける側に

#### 国立大2年 私立大2年

私が参加するきっかけはアパートに入ったチラシを見たことです。親の収入の減少で仕送りが減り、食料がもらえないなと思って参加しました。食費に困っていたので、毎月ほこプロのスタッフとして関わってきました。毎回の取り組みで生活に困っている学生や友人が来てくれて、人とのつながりが生まれ、ボランティアとして関わることができました。ありがとうございました。

驚いたのは、表に出さないだけで、自分以外にも困っている学生が想像以上にいたことです。今後も、ボランティアとして関わっていきたく思います。

#### 政権交代、共産党躍進で 学費半減を

民青愛知県委員長 古川大暁